

CiscoDNASpaces : コネクタ 2.3.1 リリース ノート

初版 : 2021 年 3 月 26 日

最終更新 : 2021 年 7 月 8 日

リリースノートについて

Cisco DNA Spaces : コネクタ の最新バージョンを使用することを推奨します。

このリリースノートでは、新機能と変更点、Cisco DNA Spaces : コネクタ の最新バージョンへのアップグレード手順、および各リリースの未解決の不具合と解決済みの不具合について説明します。特に断りのない限り、このドキュメントでは、Cisco DNA Spaces : コネクタ をコネクタ と表記します。



- (注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco DNA Spaces : コネクタ の概要

Cisco DNA Spaces : コネクタ (このドキュメントでは以降すべての参照箇所ではコネクタと呼びます) は、各コントローラがクライアント情報を失わずにクライアントデータを送信できるようにすることで、Cisco DNA Spaces が複数のコントローラ およびスイッチと効率的に通信できるようにします。

コネクタは、コントローラ、アクセスポイント (AP)、およびスイッチから効率的にデータを収集して集約し、集約したデータを Cisco DNA Spaces に送信します。コネクタアーキテクチャでは、複数のコントローラ、AP、およびスイッチが単一のポイント (コネクタ) を介して Cisco DNA Spaces に接続できます。単一のコネクタは、シスコワイヤレスコントローラ、Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラ、および Cisco Catalyst 9300/9400 シリーズスイッチに同時に接続できます。



(注) このドキュメントでは、コントローラという用語を次を指すものとして使用しています。詳細については、「[互換性マトリクス](#)」を参照してください。

- シスコ ワイヤレス コントローラ (Cisco DNA Spaces ダッシュボードに WLC AireOS として表示)
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ (Cisco DNA Spaces ダッシュボードに Catalyst WLC として表示)
- Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP)

コネクタはデータを HTTPS 経由で Cisco DNA Spaces に送信します。データはプロキシを介してルーティングすることもできます。



(注) コネクタの最新バージョンへのアップグレードを推奨します。

2.3.1 の新機能

- コネクタは、Hyper-V インスタンスとして展開できるようになりました。仮想ハードディスク (VHDX) イメージは、[cisco.com](https://www.cisco.com) からダウンロードできます。詳細については、「[Hyper-V のダウンロードと展開](#)」を参照してください。
- セキュリティ脆弱性の強化。

推奨される展開アーキテクチャ

Cisco DNA Spaces : コネクタの推奨される展開アーキテクチャは次のとおりです。

- 仮想マシンのサイズ (vCPU) : 2
- RAM : 4 GB
- ハードディスク : 60 GB
- 1 秒あたりの NMSP メッセージ数 : 10,500
- AP 数 : 12,500
- クライアント数 : 350,000
- 必要な最小帯域幅 : 4 Mbps (5,000 AP、60,000 クライアント)。



(注) キャプティブポータルを使用している場合は、バッファに加えて 30 Mbps 以上の帯域幅を推奨します。この帯域幅により、キャプティブポータルを Cisco DNA Spaces からロードする際のエンドユーザエクスペリエンスが向上します。

Cisco DNA Spaces : コネクタの互換性マトリクス

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタのサポート
シスコワイヤレスコントローラ	<ul style="list-style-type: none"> • 8.5 • 8.8 • 8.9 • 8.10 <p>(注) リストに表示されている各リリースの最新のソフトウェアまたはメンテナンスリリースバージョンを使用します。</p>
Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラ	<ul style="list-style-type: none"> • 16.12.4 • 16.12.4a • 16.12.5 • 17.3.1 • 17.3.3 • 17.4.x • 17.5.x • 17.6.1 <p>(注) リストに表示されている各リリースの最新のソフトウェアバージョンまたはメンテナンスリリースを使用します。</p>

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタのサポート
Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP)	<p>次のバージョンがサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 16.12.5 • 17.3.1 • 17.3.2a、 • 17.3.3 • 17.3.4 • 17.4.1 • 17.5.1 • 17.6.1 <p>(注) リストに表示されている各リリースの最新のソフトウェアバージョンまたはメンテナンスリリースを使用します。</p> <p>次のアクセスポイントがサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Aironet 9115 シリーズ アクセスポイント • Cisco Aironet 9117 シリーズ アクセスポイント • Cisco Aironet 9120 シリーズ アクセスポイント • Cisco Aironet 9130 シリーズ アクセスポイント
Cisco Catalyst 9300/9400 シリーズ スイッチ	サポートされているバージョンは 17.3.1 以降です。
Cisco Prime Infrastructure	—
Cisco DNA Center	—

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタのサポート
Cisco DNA Spaces : IoT サービス	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ リリース 17.3.1 以降でサポート • シスコ ワイヤレス コントローラ ではサポート対象外 • Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP) ではサポート対象外
OpenRoaming	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ リリース 16.12 以降でサポート • シスコ ワイヤレス コントローラ 8.3 以降でサポート
Cisco FastLocate の コントローラ でサポート	<ul style="list-style-type: none"> • シスコ ワイヤレス コントローラ リリース 8.1.123.0 でサポート • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のすべてのリリースでサポート
Cisco HyperLocation の コントローラ でサポート	<ul style="list-style-type: none"> • シスコ ワイヤレス コントローラ でサポート • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ でサポート
コネクタのアクティブ/アクティブ	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP) ではサポート対象外 • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ でサポート • シスコ ワイヤレス コントローラ でサポート

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタ のサポート
テスト済みの VMware 環境	<ul style="list-style-type: none"> • VMware ESXi : 6.5.0 Update 2 (ビルド 13004031) 、6.7.0 Update 2 (ビルド 13006603) 、6.7.0 Update 3 (ビルド 16316930) • VMware vSphere クライアントバージョン 6.7.0 • VMware vCenter サーバアプライアンス 6.7.0
テスト済みプロキシ	<ul style="list-style-type: none"> • Squid プロキシ <ul style="list-style-type: none"> • 転送専用モード (SSL トンネリング) • Squid-in-the-Middle モード (傍受機能を使用した SSL トンネリング) • McAfee • Cisco Web セキュリティアプライアンス
Cisco FastLocate のテスト済みアクセスポイント	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Aironet 2800 シリーズ アクセス ポイント • Cisco Aironet 3800 シリーズ アクセス ポイント • Cisco Aironet 4800 シリーズ アクセス ポイント
Cisco FastLocate のテスト済みアクセスポイント (Wi-Fi 6)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Aironet 9120 シリーズ アクセスポイント • Cisco Aironet 9130 シリーズ アクセスポイント
Cisco Hyperlocation のテスト済みアクセスポイント	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Aironet 3700 シリーズ アクセスポイント (HyperLocation アンテナが必要) • Cisco Aironet 4800 シリーズ アクセスポイント
コネクタの最小要件およびサイジング	<ul style="list-style-type: none"> • 2 vCPU • 4 GB RAM • 60 GB ハードディスク

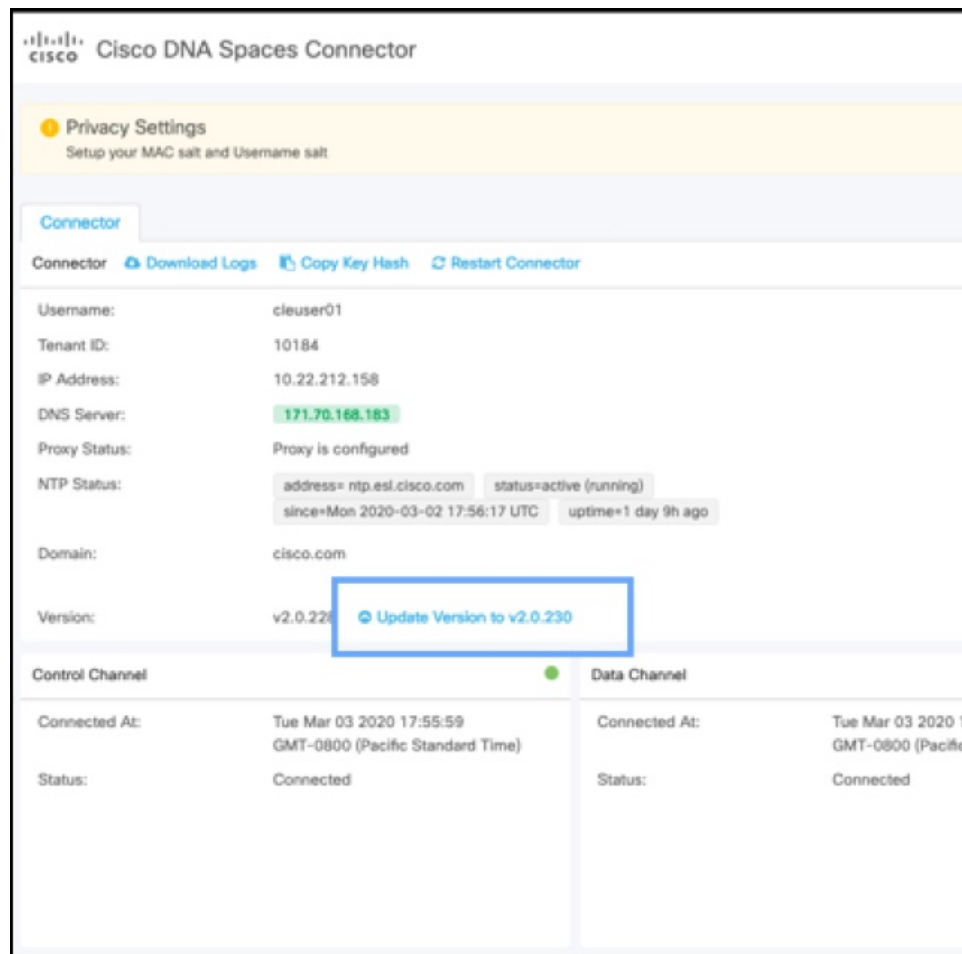
Cisco DNA Spaces : コネクタ Docker のアップグレード

コネクタ GUI から コネクタ Docker を最新バージョンにアップグレードできます。アップグレードリンクは、新しいアップグレードイメージが使用可能な場合にのみ表示されることにご注意ください。



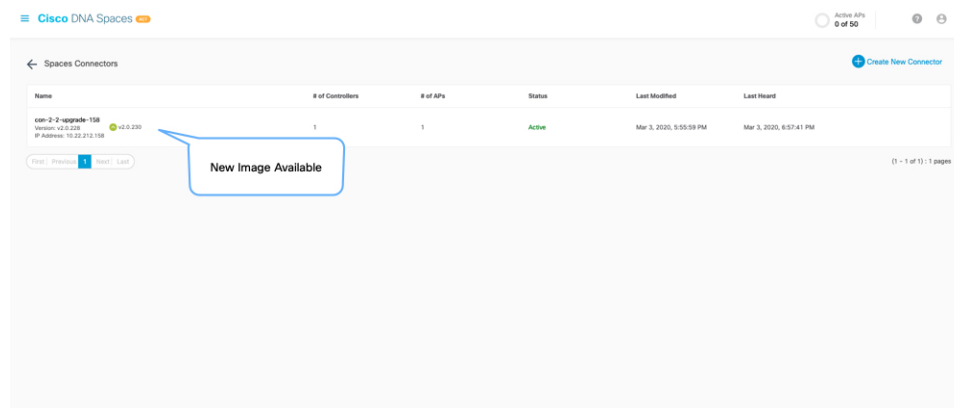
(注) この手順では、コネクタ OVA はアップグレードされません。

図 1: コネクタ 上の **Docker** アップグレードリンク



Cisco DNA Spaces ダッシュボードから コネクタ Docker を最新バージョンにアップグレードすることもできます。アップグレードリンクは、新しいアップグレードイメージが使用可能な場合にのみ表示されます。

図 2: Docker アップグレードリンクは、新しいイメージが使用可能な場合にのみ表示される



アップグレードパス

次の表は [HTML](#) 形式で表示するのが最適です。

表 1: アップグレードパス

リリース番号	リリース名	このリリースへのアップグレード	推奨事項
リリース 2.3.1	cisco-dna-spaces-connector-2.3.478.ova	cisco-dna-spaces-connector-2.3.495.ova	—
	cisco-dna-spaces-connector-2.3.478.connector	cisco-dna-spaces-connector-2.3.495.connector	OS レベルでセキュリティパッチを取得するには、OVA アップグレードが必要です。
リリース 2.3	cisco-dna-spaces-connector-2.3.462.ova	cisco-dna-spaces-connector-2.3.478.ova	—
	cisco-dna-spaces-connector-2.2.462.connector	cisco-dna-spaces-connector-2.3.478.connector	OS レベルでセキュリティパッチを取得するには、OVA アップグレードが必要です。

リリース番号	リリース名	このリリースへのアップグレード	推奨事項
リリース 2.2	cisco-dna-spaces-connector-2.2.295.connector	cisco-dna-spaces-connector-2.3.478.connector	OS レベルでセキュリティパッチを取得するには、OVA アップグレードが必要です。
	cisco-dna-spaces-connector-2.2.295.ova	cisco-dna-spaces-connector-2.3.478.ova	OS レベルでセキュリティパッチを取得するには、OVA アップグレードが必要です。
延期中のリリース 2.1.1	cisco-dna-spaces-connector-2.1.1.connector	cisco-dna-spaces-connector-2.3.478.connector	OS セキュリティ修正により、2.1.1 から 2.3 へのアップグレードが可能
	cisco-dna-spaces-connector-2.1.1.ova		
延期中のリリース 2.0	cisco-dna-spaces-connector-2.0.connector	アップグレードはサポートされていません。新しいコネクタを展開して、同じトークンを使用することはできます。	
	cisco-dna-spaces-connector-2.0.ova		
延期中のリリース 1.0	cisco-dna-spaces-connector-1.0.188.connector		
	cisco-dna-spaces-connector1.0.188.ova		

コネクタ OVA の 2.3 から 2.3.1 へのアップグレード

このタスクでは、Cisco DNA Spaces : コネクタ を OVA バージョン 2.3 から 2.3.1 にアップグレードする方法を示します。

手順

- ステップ 1 cisco.com から [コネクタ 2.3.1](#) をダウンロードします。
- ステップ 2 Cisco DNA Spaces : コネクタ マシンに、ダウンロードしたファイルをコピーします。
- ステップ 3 コネクタ コマンドラインにログインします。
- ステップ 4 `connectorctl upgrade <<upgrade_file_name>>`
このコマンドは、OVA アップグレードプロセスを開始します。
dnasadmin ユーザが作成されました。
- ステップ 5 プロンプトが表示されたら、新しく作成された **dnasadmin** ユーザのパスワードを設定します。

ステップ6 アップグレードが完了するまで数分間待ちます。

ステップ7 アップグレードが完了したら、**dnasadmin** ユーザとして コネクタ にログインします。



- (注)
- コネクタ がアップグレード前と同じ状態で実行されていることを確認します。
 - **CSCvr74830** では、アップグレード中に表示される 2 つの既知のエラーを無視できます。

注意事項

次のセクションでは、Cisco DNA Spaces : コネクタ に関する未解決および解決済みの不具合について情報を提供します。

Cisco Bug Search Tool

警告では製品の予期しない動作について説明します。「未解決の不具合」セクションには、現在のリリースに適用され、以前のリリースにも適用されている可能性のある未解決の不具合が記載されています。これまでのリリースで未解決で、まだ解決されていない不具合は、解決されるまで、今後のすべてのリリースに適用されます。

<https://tools.cisco.com/bugsearch/>にある Bug Search Tool (BST) は、Bug Toolkit のオンライン後継製品です。BST は、ネットワーク リスク管理およびデバイスのトラブルシューティングにおいて効率性を向上させるように設計されています。BSTを使用すると、パートナーとお客様は製品、リリース、キーワードに基づいてソフトウェアのバグを検索し、バグ詳細、製品、バージョンなどの主要データを集約することができます。このツールでは、クレデンシャルに基づいてバグをフィルタし、検索入力に関する外部および内部のバグビューを提供することもできます。

Cisco Bug Search Tool の効果的な使用方法 (バグに関する電子メールアラートの設定方法、バグや検索の保存方法など) については、[Bug Search Tool and FAQs](#) ページを参照してください。

2.3.1 で未解決の不具合

表 2: 不具合

不具合	説明
CSCvr74830	アップグレード中、コネクタのインストール時にエラーメッセージが表示されます。
CSCvt29826	コネクタで生成された証明書のキータイプが ECDSA の場合、IPSec が有効な AAA は機能しません。

2.3.1 で解決済みの不具合

表 3: 不具合

不具合	説明
CSCvx40536	Cisco DNA Spaces : コネクタ を最新の CentOS バージョンにアップグレードする必要があります。
CSCvx40569	コネクタ を最新の nginx バージョンにアップグレードする必要があります。
CSCvy62400	サードパーティ認証局 (CA) またはデバイス証明書から Web 管理者の証明書をインポートできません。

よくある質問

どのようなブラウザがテスト済みですか。

Cisco DNA Spaces : コネクタ は、次のブラウザでテスト済みです。

- Google Chrome

どのようなプロキシが **Cisco DNA Spaces : コネクタ** でテスト済みですか。

次のプロキシは、Cisco DNA Spaces : コネクタ でテスト済みです。

- Squid プロキシ
 - 転送専用モード (SSL トンネリング)
 - Squid-in-the-Middle モード (傍受機能を使用した SSL トンネリング)



(注) Squid-in-the-Middle モードで Squid プロキシを使用する場合、WebSocket ドメインの傍受機能を無効にする必要があります。「ssl_bump bump all」セクションの前の Squid 設定ファイルに、次の行を追加します。

```
• acl websocket_sites ssl::server_name
  .location-data.cisco.com

• acl websocket_sites ssl::server_name
  .dms.cisco.com

• ssl_bump splice websocket_sites
```

- McAfee
- Cisco Web セキュリティ アプライアンス

Cisco DNA Spaces : コネクタのトラブルシューティング

以下に、Cisco DNA Spaces : コネクタで発生する可能性のあるトラブルシューティングシナリオの一部を示します。

フェールオーバー後に IoT サービス を再プロビジョニングする方法

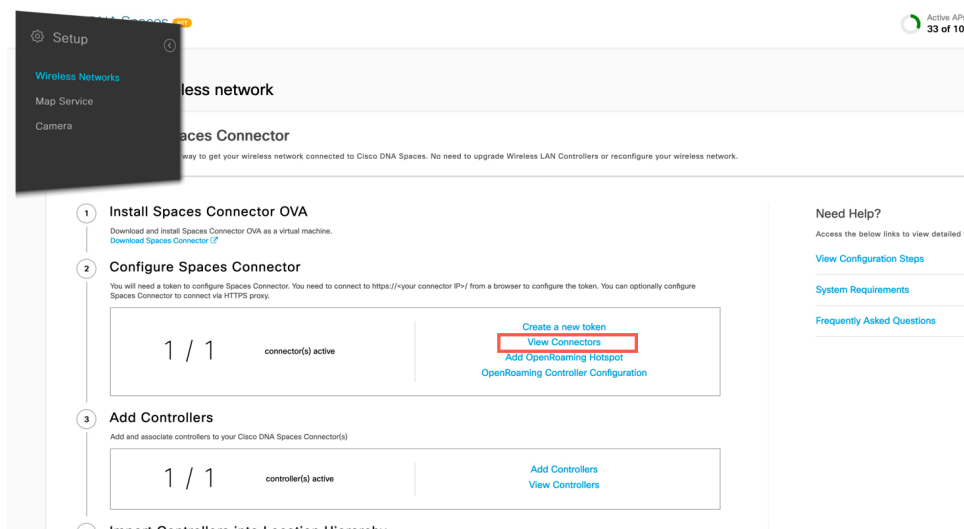
このタスクでは、コネクタのフェールオーバー後に Cisco DNA Spaces : IoT サービス を再プロビジョニングする方法について説明します。フェールオーバー後は、1つのコネクタだけがアクティブになります。アクティブなコネクタに対してこのタスクを実行することを確認します。(ステップ 3)

手順

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードの左側ナビゲーションペインから、**[Setup]>[Wireless Networks]**の順に選択します。

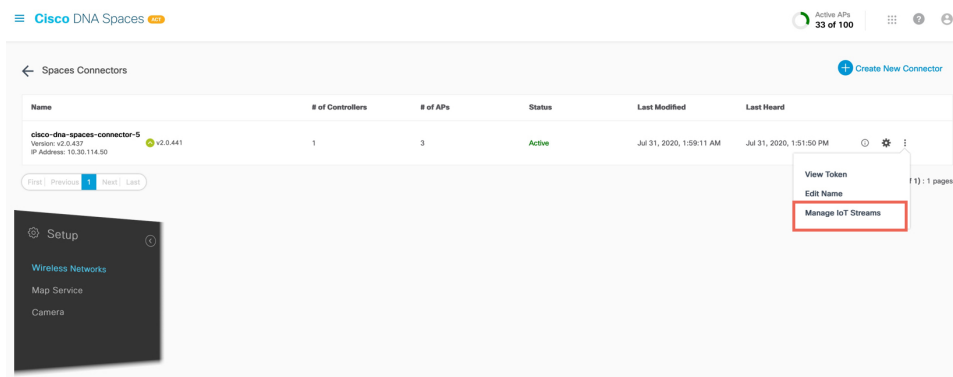
ステップ 2 **[Configure Spaces Connector]** 領域で、**[View Connectors]**をクリックします。

図 3: View Connectors



ステップ 3 アクティブなコネクタの3つのドットアイコンをクリックし、**[Manage IoT Streams]**を選択します。

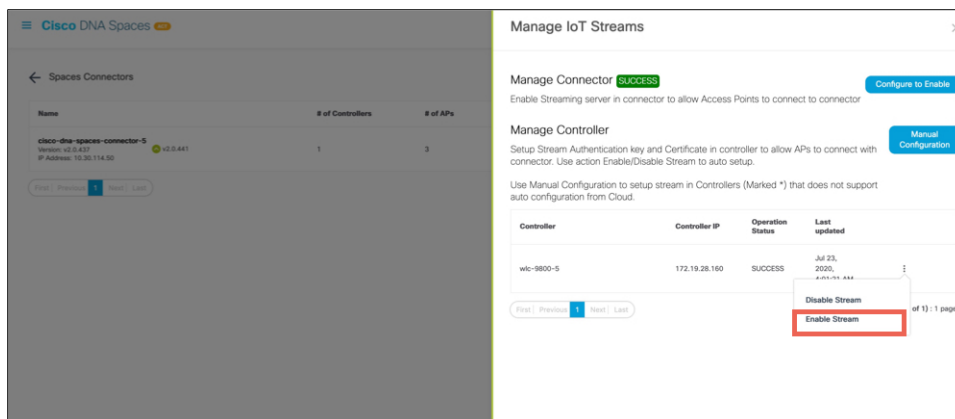
図 4: Manage IoT Streams



ステップ 4 表示された [Manage IoT Streams] ウィンドウで、次の手順を実行します。

- [Manage Controller] 領域で、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の 3 つのドットアイコンをクリックし、[Disable Stream] を選択します。ステータスが [Not Initiated] に変更されます。
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の 3 つのドットアイコンをもう一度クリックし、[Enable Stream] を選択します。

図 5: コネクタ およびそれぞれの Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の IoT ストリームの有効化



AP とコネクタ の間の gRPC チャネルが再確立されます。

ステップ 5 Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ とコネクタ の間のテレメトリを再度有効にするためには、コネクタ GUI から コネクタ を再起動します。コネクタは、Cisco DNA Spaces : IoT サービス のためのテレメトリサブスクリプションをCisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ で作成できるようになりました。

関連資料

- [Cisco DNA Spaces : コネクタ コンフィギュレーション ガイド](#)

- [Cisco DNA Spaces](#) : コネクタコマンド リファレンス

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

ドキュメントの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービス要求の送信、追加情報の収集の詳細については、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカルコンテンツをお手元で直接受け取るには、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』RSS フィードをご購読ください。RSS フィードは無料のサービスです。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。